日向市社会福祉協議多

ASTARDO NEGRIO



運動しながら脳を鍛える"動く脳トレ" 「スクエアステップリーダー養成講座」を開催しました

本会では、百歳体操、いきいきサロン、コミュニティカフェ等、集いの場での新たな展開の一つとして「スクェアステップ」の取り組みを推進しています。「スクェアステップ」は、高齢者の転倒予防・要介護予防、認知機能は下防止をはじめ、生活習慣病予防などに効果があるエクササイズです。

今回は大豆谷圏域と中央圏域の生活支援サポーターを対象に、「スクエアステップリーダー養成講座」を開催しました。参加者の皆さんがリーダーとしてそれぞれの地域で活躍し、スクエアステップを通じて地域住民の健康増進の役割を担っていただけるととを期待しています!

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から、日向市社会福祉協議会の事業活動に、深いご理解とご支援を頂きまして心より感謝 申し上げます。

さて、近年は、少子高齢化や急激な人口減少、家族形態の変化、地域のつながりの希薄化、ま た、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への対応や昨年の複雑な国際情勢に よる経済不安、物価高など生活環境に大きな変化が見られました。このような社会情勢の中で、 地域福祉を取り巻く環境は複雑多様化し、極めて重要な課題となっています。私たちが住んでい る地域が幸せな地域になるためには、地域の中で「人と人とのつながりを大切にし、お互いが助 けたり、助けられたりする関係づくりやその仕組みづくりの構築」が大切なことであり、また将 来の地域力を育てていくことにつながります。本会は「行政、区長公民館長、民生委員・児童委 員、ボランティア活動組織、その他関係機関・団体等」とスクラムを組んで地域共生社会の実現 に向けた、日向市らしい地域福祉を推進していきます。そのため「困りごとを抱えている方々」 のみならず「全世代型」「全対象型」に広げて、世代や分野を超えてつながることで、住民一人 ひとりの暮らしと生きがいを共に創っていく社会の実現にむけて重層的支援体制整備事業の充実 に取り組んで参ります。

行政はもとより、市民の皆様並びに関係機関や団体・企業等との更なる連携強化とご支援をい ただきながら、本年も地域福祉の充実に努め、地域共生社会の実現に邁進いたします。

心が通う温かい地域福祉事業を職員・役員による組織の総合力で推進に努めて参りますので、 より一層のお力添えを頂きます様お願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、希望に満ちた実り多い素晴らしい年になりますよう にご祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。

> 令和5年1月1日 社会福祉法人 日向市社会福祉協議会 黒 木 正 会 長

日向市社会福祉協議会役員(令和5年1月1日現在)



黒木正一 三浦雅典





副会長



常務理事



橋口克義 大野靖文 奈須英一 伊達忠士 中村春美 角田恵子



理事







理事 三 樹



理事 黒木一彦



理事 藤本一三黒木邦人



理事



理事 黒木絹子



監事



監事

令和4年度第18回社会福祉大会を開催しました

令和4年10月20日(木)に日向市中央公民館で標記の大会を開催しました。この大会は3年に1度開かれるもの で、今回で18回目を迎えることができました。

今大会については、これまで多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するととも に、「地域共生社会」の実現に向けて、本市の社会福祉の一層の充実を目指す機会として開催しました。

日向市長表彰 49 名、日向市社会福祉協議会会長表彰 69 名、日向市社会福祉協議会会長感謝 16 名・1 団体、日向 市共同募金委員会会長感謝 21 団体が授章されています(授章の詳細は下記に記載しています)。また、記念講演として 九州保健福祉大学非常勤講師 山﨑睦男氏より、「新しい地域福祉のカタチ」ー地域共生社会づくりと私たちの課題ー をテーマに、ご講演をいただきました。



日向市長表彰

【民生委員·児童委員永年勤続13年以上】

壹岐優子 川上波子 中村春美 佐藤 寛 福永俊子 川野系子 山本ミヨ子 寺町セツ子 橋口克義

【民生委員·児童委員永年勤続8年以上】

早川昌子 黒木高幸 髙野道子 日髙公子 柏田節子 重富榮子 戸髙津多子 伊達忠士 山本結子 斎藤文子 戸高五美 海埜美代子 松本允子 黒木邦寛 直野 一 竹田裕見子 一政浩代 髙橋 滋 大坪京子 佐藤たつよ 那須理恵 日高哲也 河野美智代 黒木重信 黒木次男

【民間社会福祉施設等の役職員在職期間13年以上】

中島章

渡邊秀代 高橋まち子 梅野清美 椎葉さおり 鈴木千洋 池田隆太郎 細川広美 古場春美 山本玲子 今田保洋 佐野美由紀 陰山光男

若藤美智子 塩月清子

日向市社会福祉協議会会長感謝 【高額寄付者】

後藤 茂 渡邊康久 林田雅郎 橋口邦弘 児玉義男 黒木マツ子 吉田 稔 松葉 勝 田中妙子 黒木覚市 和田 稔 村田髙子 田中昌子 藤本一正

一般社団法人日向青年会議所

【社会福祉功労者】

中村公彦 松木真一

日向市社会福祉協議会会長表彰

【民生委員·児童委員永年勤続5年以上】

是澤文子 内倉一節 黒木知子 楠 春美 黒木章夫 日髙利夫 高舘幸枝 三輪千穂 飯干義男 池田孝美 岡崎和代 小村清美 中村真由美 甲斐 栄 小原寿雄 黒木英子 今村正俊 石谷一美 黒田テル子 岩本建子 黒木清人 岩野洋子 椎葉正憲 宮﨑新二 植田忠明 森 敏郎 三谷道代 和田梅子 安藤逸男 高山正吾 野別ルリ子 黒木 訓 黒木 勝 山口久和

【民間社会福祉施設職員永年勤続8年以上】 日向市ボランティア連絡協議会

黒木 豪 川野幸代 児玉祐一 黒木祥子 鈴木公子 三樹香織 柏田玉恵 椎葉美穂 中村智美 矢野栄子 赤木智子 五十川裕真 児玉絹代 桝田秀子 菊池靖子 東野幸盛 橋口陽子 津島裕司 甲斐靖章 東田章夫 御手洗けい子 西岡敏朗 河野とよ子 小林久美子 久保伸子 黒木きよみ 角田麻美 松村三佐子 園田美幸 黒木みき 甲斐史緒莉 松木一平 黒木美紀

【社会福祉事業民間奉仕者】

菊澤あつ子 平野スミ子

日向市共同募金委員会会長感謝 【学校の部】

財光寺小学校 細島小学校 平岩小中学校 美々津小学校 寺迫小学校 東郷学園

【団体の部】

推進していく上での課題

地域其生社会」と「重常的支援体制整備事業」の理解を進める ・中央・ (中央の) と (中央の

開的を提供制整備事業」を日向市全体のサービス・活動

社の受け無として再整理する。] まで取削まれてきた福祉サービ

支援体制整備事業に位置づけ

日向市区長公民館長連合会 日向市民生委員児童委員協議会 日本ボーイスカウト宮崎連盟日向第6団 聖心ウルスラ学園高等学校 日向地区更生保護女性会

【法人の部】

日向市保育協議会 日向市子ども子育て協議会 社会福祉法人しおみ福祉会 障害者支援施設 しおみの里 社会福祉法人ひまわり会 あかつき学園 株式会社日向製錬所 第一糖業株式会社

稲原眼科医院

社会医療法人泉和会 千代田病院 美々津カントリークラブ美々津観光開発株式会社

~日向市社会福祉施設等連絡会全体研修会~

日向市内に所在する、社会福祉施設等職員の資質向上と、施設職員間の情報交換・親睦並びに社会福祉施設等が有する機能・技術・情報を地域へ提供するとともに地域に参画することを目的に、日向市社会福祉施設等連絡会(※以下施設連)が組織されています。施設連は児童施設部会、障がい児者施設部会、高齢者施設部会から構成されており、現在65の機関・事業所が加盟しています。



2017年、2020年の2度にわたる社会福祉法の改正により、包括的な支援体制や重層的支援体制整備事業という新たな仕組みが導入されたことで、地域づくりの観点から社会福祉施設等が担う役割が期待されています。新型コロナウイルスの影響により、ここ数年全体研修は実施しておりませんでしたが、去る11月2日、全体研修会を実施しました。

◇研修テーマ

『連携・協働、包括的な支援体制に向けて施設が担う役割・機能』

~重層的支援体制整備事業への取組み~

講師:同志社大学社会学部教授 永田 祐氏



【要旨】

日本の社会保障は、家族や安定した雇用を前提につくられてきたが、その全体が揺らいでいる。複合課題の場合、分野別(対象者別)のサービスだけでは問題解決につながらない。児童、障がい、高齢者の各分野において支援の体制は整えられてきたが、次の段階として縦割りを包括化していくことが重要。目指すは地域共生社会であり、地域にある社会福祉法人をはじめ、事業所だけではなく、商工農漁業者等も含めて、幅広い連携が求められる。包括的な支援体制は、社会福祉法人や民間事業所などと協働しないと作れない。

地域づくりにおいても、専門職同士の協働においても、「折り目」の付け方で新たな出会いと変化を生み 出す発想が必要。出会えなかった人が出会うことで、新しい発想が生まれ、必要な取組みを作ることができ るのが民間の強みである。地域共生社会を実現する協働実践のキーワードとして3つ

- 1. 越境(民間の自由な発想で、属性や分野を越えてつながり、考えること)
- 2. 協働・のりしろ(自分たちだけではなく、多様な人ができることを出し合うこと)
- 3. 空き○○(空いている資源を活用すること。地域のお宝を探し、つなぎ、活かすこと)

地域づくりに 繋がる

★目指しているのはシンプルなこと・・・

困っている人が助けてと言えて、それをきちんと受け止める人がいて、押し付けないで協力して解決策を考えることができる、そのような地域をつくっていくことが地域共生社会であり、社会福祉法人等においてはその中核として、活躍されることを期待しています。

【参加者の声】

- ●横のつながりの大切さ、「やらされる」のではなく自分達の発信が大切。他施設・機関が手をとり合い共に考え支援していくことを考えました。
- ●今まで包括的な支援などについて特に興味なく、なんとなく理解している感覚でいましたが、今回の講演で社会においてとても重要であること、今後の取組みについて学ぶことができました。
- ●一人ではなく、地域専門職の方と繋がることで課題を受け止め、一緒 に解決できるように考えることの大切さに気づくことができました。



【研修を終えて これから…】

今回は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、講演を中心とした研修にとどめましたが、次回研修では地域で実際起きている課題を掘り下げながら「うちの施設でできること・できるかもしれない」「他施設と連携してできそうなこと」など、皆さんと検討したいと考えています。

「問合せ先」 日向市社会福祉施設等連絡会事務局 担当:梅田

『地域で学び、地域で支える』

福祉教育に関する相談は社協まで!!

[地域について考える福祉教育プログラム一覧]

- 1. 福祉について
 - □基本的な福祉の理解 □高齢者福祉・障がい者福祉の理解
- 2. 地域福祉について
 - □住民主体の重要性 □地域福祉の動向について
- 3. 地域社会の実態について
 - □地域生活課題の実態 □地域共生社会とは
- 4. 認知症についての正しい理解
 - □認知症サポーター養成講座 □認知症講演会、勉強会
 - □支え合い模擬訓練
- 5. ボランティア活動について
 - □ボランティア・市民活動 □災害ボランティア活動について □災害時の支え合いについて
- 6. 支え合い活動について
 - □人材育成・組織化 □自治会における地域福祉活動支援
- 7. 地域福祉部について
 - □福祉部の推進について □地域福祉推進の基盤づくり
- 8. 地域調査(実態調査·課題分析)
 - □地域座談会 □地域住民との地域調査
- 9. 事例検討
- 10. 介護に関する勉強会
 - □介護予防について □介護の方法

本会では、地域の皆さんを対象とした福祉教育を実施しています。福祉を地域の中で学ぶメリットとして大きく3つあります。

福祉を地域で学ぶことのメリット

- ① 地域を思いやる心を育む
- ② 地域・自治会を支える地域福祉活動者 (協力者)を増やすことにつながる
- ③ 学ぶことを通して、地域に住む人たちが 繋がるきっかけになる。

"福祉を地域で学ぶ"ことは住民相互の支え合いの仕組みをつくっていくための第一歩です。まずは自分の住んでいる地域や人、地域の現状を知ることが大切です。

本会では、地域や企業・法人等において福祉 を学ぶための学習プログラムを準備しています ので、お気軽にご相談ください。

「問合せ先」地域福祉課 担当:加藤正憲



赤い羽根共同募金より中間報告です!



街頭募金活動へのご協力ありがとうございました!

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障がいのある人、子どもたちなどに対するさまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ」です。

今年も10月1日よりスタートし、市内のスーパー店舗の出入り口などで、民生委員・児童委員や児童の皆さんにもご協力していただき、街頭募金活動を実施してます。コロナ禍ではありますが、地域の方々とのつながりを絶やすことなく活動ができること、また、募金をとおして皆さまのやさしい気持ちをいただけることに大変感謝しております。

募金していただいた市民の皆さん、活動していただいた皆 さん、各店舗の皆さん、ありがとうございました。

今年集まった募金は、来年度の福祉事業に使われます。

≪募金実績≫

細島·日知屋東地区民児協	¥36,659
富高地区民児協	¥19,734
塩見·財光寺地区民児協	¥32,609
岩脇·美々津地区民児協	¥15,171
財光寺南地区民児協	¥30,331
東郷地区民児協	¥29,011
大王谷地区民児協	¥21,737
日知屋地区民児協	¥32,288
日知屋児童センター	¥10,316
ボーイスカウト日向第6団	¥32,791









【問合せ先】 宮崎県共同募金会日向市共同募金委員会 担当 :黒瀬・河野



令和4年度日向市東郷町災害ボランティア連絡協議会 登録機関・団体名 28団体(略式名称で表記しています)

行政関係機関(日向市福祉課・環境政策課・防災推進課・東郷地域振興課・東郷包括支援センター)消防関係(日向市消防団第9・10分団)警察関係(東郷・坪谷駐在所)学校関係(東郷学園・坪谷小学校)事業所関係(東郷町商工会・JA農協東郷支店・東郷建設協会冠会・耳川広域森林組合日向支所・山陰、坪谷郵便局)各種協議体(東郷区長会・東郷地区民児協・福祉推進協議会・東郷まち協・防災士ネットワーク)医療・福祉施設(東郷診療所・青柳内科循環器科・牧水園・鈴峰園・やまげ保育園)日赤奉仕団

◇ 本会議では3つの議題を共有し、自然災害等における今後の支援に向けて協議しました。

⑩災害VO連協の役割

災害後の復旧復興支援はもちろんですが、日頃からの防災対策や、台風前の避難等で、各種団体、関係機関が取り組んでいる活動を把握しました。本会からは、今回の台風14号においての課題として、東郷域内の支援ボランティアが招集できなかったことを挙げ、その要因の一つに、災害復旧におけるボランティアセンター設置への周知不足があったことを説明しました。今回の会議に参加頂いた22団体の代表者には、災害ボランティアセンターの設置前後、連携強化していただきたい団体であることを再度周知しご理解いただきました。

②東郷域内での支援対策

台風14号を振り返り、東郷域内の実情がどうだったのか、災害時の写真や、災害へのボランティア派遣状況について説明を行い、本会では、18件のニーズを受け、12件の世帯へ派遣を行ったことを報告しました。また、派遣先は、独居高齢者宅がほとんどであり、特に支援が必要な人を優先して支援を行ったことも報告し、その後、各種団体、関係機関の台風前後の体制や対応等を共有しました。

【参加者の声】

施 設 関 係 者…利用者の避難を開始するタイミングがわからない。

消防団関係者…浸水している中で、逃げ遅れた方の救助に少し危険を感じた。

医療機関関係者…災害外傷に対応し、通院不能な方には支援の融通等を行った。夜間休日の活動については、 東郷地区以外のスタッフも多いため、今後について検討していきたい。

②さらなるネットワークの再構築

今後の取組について協議を行う中で、まずは各団体、関係機関の優先すべき業務を明確にし、その上で、 復旧復興支援に携わるボランティアとして協力できることを個別ワークで考えていただきました。

【参加者の声】

行政機関関係者…今後は連携を図りたい。次年度は台風シーズン前の5月·6月に招集し、各関係機関の役割 を周知できると、台風後の復興支援がスムーズに進むと考えている。

施 設 関 係 者…被災者向けに施設の入浴施設の開放や一時的な福祉避難所としての機能、被災者への相談 対応ができれば。

学 校 関 係 者…保護者への学校安心メールの活用ができるかもしれません。

まちづくり協議会…各部会に、ボランティアへの登録を依頼していく。

医療機関関係者…被災のない地域住民からの応援が一番。「相互応援」体制。

[問合せ先] 東郷支所 担当:関野·渦尾·寺原

404

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

2028A BURLYCRUCKSEEWER

今年は小(う)どし。ピョンピョンピョ〜ン『飛躍の一年に!

だいおうだにじどうかん

大王谷児童館 〒:66-1177

1月21日(土)

『お店屋さんごっこ』(小学生対象)

☆「いらっしゃいませ~」とお店屋さん 「これくださいな」とお客さん お店屋さんごっこを楽しみましょう♪

間:14:00~15:30 金時

金定 員:30名

2月3日(金)

『鬼をおっぱらおう!(豆まき)』(小学生対象)

☆パラッパラッ元気よく豆まきだーー! 児童館の鬼をおっぱらおう!!

間: 15:30~16:30 部金 会申込締切:1月28日(土)

員:なし 金定

ひ ちやじどうせんたー

日知屋児童センター 〒:52-8443

1月21日(土)

『ちょきちょきぺったん』(節分)(小学生対象)

☆2月3日の節分に向けて、今回はどんなものが できあがるかな~お楽しみに!

間:14:00~15:00 金時

金定 員:15名

2月4日(土)

『親子でお花をかざりましょう』

(幼児親子・小学生親子対象)

☆おうちの人と一緒にフラワーアレンジメントに 挑戦!お花の美しさや香りに包まれて笑顔も満開♡

部金 間:10:30~11:45

金定 員:15組

2月2日(木)

『福をよびこもう!(豆まき)』(幼児親子対象)

☆豆まきをして福をよびこもう♪ みんなの願い~幸せいっぱい♡ 元気いっぱいに過ごせますように!

間:10:30~11:30 会時 会定 員:親子で15組程度

☆参加申込:1月11日から受け付けます。

2月16日(木)

『思い出づくり』(幼児親子対象)

☆好きなオモチャでいっぱい遊んで楽しい思い出 をつくりましょう♪茶話会もお楽しみに♡

胡像 間:10:30~11:30

金定 員:親子で15組程度

1月27日(金)

『オニをやっつけよう!』(小学生対象)

☆いざ!鬼退治!みんなで悪いオニをおっぱら おう! 『ふくは~うち♥おには~そと!!』

間:16:00~16:45 会時

員:20名 金定

2月25日(土)

『ちょきちょきべったん』

(おひなさま)(小学生対象)

☆かわいいおひなさまのかざりをつくりましょう。 はるはもうすぐ♪

胡像 間:14:00~15:00

金定 員:15名



















※参加については、必ず事前にお問合せください。定員になり次第締め切ります。

行事は全て無料となっておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止または人数制限を設け る可能性があります。その場合は、申込みをされた方に直接ご連絡をさしあげます。皆さんのご理解とご協力 をお願いします。

食糧支援事業(フードバンク)

~ "もったいない"を"ありがとうへ"~



地域の皆さんより たくさんの寄付を頂いております

多くの皆さんにご協力いただき、お米や調味料、レトルト 食品、お菓子、飲料などたくさんの寄付を頂きました。頂い た食品で、令和4年11月現在35件の生活困窮世帯へ食糧 支援を行っています。その他にもお菓子やジュースは学習 支援事業を利用している子どもたちに提供しています。

地域の皆さんからの温かいお心遣いに感謝申し上げます。 ありがとうございます。





まだまだ集めています!



食糧支援事業は、地域の企業・団体及び市民の皆さんの善 意で成り立っており、皆さんのご理解·ご協力が必要不可欠 となっております。家庭で眠っている食材等(常温保存が可 能であり、賞味期限が記載され1か月以上あるもの)があり ましたら、是非、本事業への提供をよろしくお願いいたします。 食糧支援事業に関する不明な点や、詳細につきましては 担当までお問合せください。

> [問合せ先] 生活福祉課 担当:迫田

坪谷小学校「気合田」の もち米を寄贈していただきました!



坪谷小学校から、学校の実習田「気合田」で児童が種 まきから、田植え、田の草取り、稲刈り、脱穀をした無 農薬のもち米をいただきました。フードバンク事業や子 ども食堂へ提供させていただく予定です。

坪谷小学校の皆さん、ありがとうございました。



社会福祉法人

日同市社会福祉協議会

[日向市生活相談・支援センター心から] [日向市ボランティア・市民活動センター]

〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3 日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562 ホームページアドレス http://hyuga-shakyo.or.jp/

|典返し・一般寄付ありがとうございき

※ハートフル11月号掲載の8月分香典返し寄付者の一覧に区名の間違いがございました。 大変申し訳ありませんでした。下記に訂正いたしましたので、ご確認をお願い致します。

〈香	典返	し	訂正分》	敬税	尓略			令	和4	年8.	月分
喪	主(またに	t寄付者)		故)			坩	<u> </u>	<u> </u>
_	111	知	渞	_	ılı	幸	什		寉	野	内

〈香典返し〉敬称略		令和4年10月分
喪 主(または寄付者)	故人	地 区
黒木ミサ子	黒木芳雄	下 原 町
成 合 加代子	児 玉 京 市	花ヶ丘
児 玉 正 明	児 玉 ヨシノ	金ヶ浜
松葉美幸中野文朗	松葉千代子	鵜毛
中野文朗	中 野 節 子 黒 木 保 子	仲 深
黒木和之		亀 崎 中
黒木恵子	黒木美代子	曽 根
甲斐正樹	荒 木 ミヨカ	高 砂
堀内秀雄	堀 内 民 代	江 良
黒木時夫	黒 木 節 子 六 角 立 男	永 田
六 角 リヱ子	六 角 立 男	山下
児 玉 ケサヱ	児 玉 芳 宣	秋 山
甲斐和喜	甲斐ミヨ	
柏 田 等	柏 田 満	堀一方
那 須 三代美	那 須 國 和	切島山2
高橋和久	高 橋 サツヱ	奥野
近藤豊子	近 藤 悟	迎洋園
大 野 美 加	炭 倉 みはる	鶴野内

〈一般寄付金〉敬称略	令和4年10月分
氏 名	金額(円)
財光寺中学校	58,585円

〈物品寄贈寄付者〉敬和	令和4年10月分	
氏 名	地 区	物品
黒木 東	飯谷	マスク
荒砂 建一	仲深	玄米
黒木 高幸	庄手	紙おむつ
近藤 豊子	迎洋園	紙おむつ

〈香典返し〉敬称略	令和	04年11月分
喪 主(または寄付者)	故人	地 区
三股益美	三股政夫	江 良
平田久実	平田 キヨ子	堀 一 方
稻田義美	稻田孝子	上原町
三津田 満喜子	三津田 喜 弘	往 還
澤田麻由美	若藤テル子	長 江
髙橋藤美男	髙 橋 タミヱ	奥 野
植薄恵子	植薄正敏	福瀬
児 玉 厚	児 玉 アイ子	笹 野 西
児 玉 明	兒 玉 トクヱ	大 王 谷
髙山幸人	髙 山 ヒサ子	羽 坂
河本富子	河 本 恒 昭	笹 野 西
秋 實 市 子 木 田 裕 子	秋 實 範 浩	遠見
木田裕子	木 田 正	秋 山
花岡美和	黒木喜代子	<u>梶</u> 木 往 還
濱田久男	濱 田 弥惣次	往 還
三輪治夫	三 輪 洋 子	吉 野 川
田中久美子	田中敏晴	迎洋園
三輪正明	三 輪 タネ子	吉 野 川
佐藤 アサノ	佐藤幸男	鶴野内
岩崎公博	岩崎力雄	秋 山
米 原 マサヱ	米 原 寿美男	立経
大 坪 真 司	大 坪 松 子	川 路

米 原 マサヱ	米原	東	€男	立	縫	
大 坪 真 司	大步	平 松	子	Ш	路	
氏	金額()	円)				
全山労宮崎同		10,00	0円			
〈物品寄贈寄付者〉敬称	一	34年1	1月分			

恵美子 紙おむつ 木村 比良 小田 塩見ヶ丘|紙おむつ・おしりふき

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2 日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274 Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報紙は再生紙を利用しています。

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。奇数月に発行。

印刷所 有限会社 第一印刷